

会 議 録

会 議 の 名 称	第 2 回 行田市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和 7 年 3 月 2 1 日（金） 開会：午後 2 時 ・ 閉会：午後 3 時 2 0 分
開 催 場 所	行田市産業文化会館 2 階 第 2 会議室
出席者（委員） 氏 名	櫻井 真佐美・萩原 実・羽賀 烈・寺本 妙子・柿沼 俊充 滝澤 布沙・長谷川 盛雄・今村 武蔵・島田 ユミ子・高橋 榮美 1 0 名
欠席者（委員） 氏 名	加藤 裕一・竹内 政行・岡島 伸行・松本 秀夫
事 務 局	中村生涯学習部長・松田生涯学習部次長（図書館長） 近藤生涯学習課長・野口スポーツ振興課長・坂野スポーツ振興課主幹 中島文化財保護課主査・風間中央公民館副館長・鈴木郷土博物館長 篠田郷土博物館主査・担当 増地 1 0 名
会 議 内 容	1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 (1)令和 6 年度社会教育行政施策の報告について (2)令和 7 年度社会教育関係予算の概要について (3)社会教育委員会議から選出している各種委員等について 4 閉 会
会 議 資 料	1 令和 6 年度社会教育行政施策の報告 2 令和 7 年度社会教育関係予算の概要 3 社会教育委員会議から選出している各種委員等について
その他必要事項	
発 言 者	会 議 の 経 過 （ 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 結 論 等 ）
	市民憲章唱和 1 開 会 事務局 2 あいさつ 生涯学習部長

	<生涯学習部長退席> 3 議 事 島田議長 (1) 令和6年度社会教育行政施策の報告について 令和6年度 生涯学習部事業について、各課所館長が報告。 ①近藤生涯学習課長 ②坂野スポーツ振興課主幹 ③中島文化財保護主査 ④風間中央公民館副館長 ⑤松田図書館長 ⑥篠田郷土博物館主査 の順で説明。
今村委員	<質 疑 等> 2つお尋ねしたい。 彩々亭の耐震検査が年末に行われると聞いていたが、その結果はどうだったのか？ 2点目は、地域公民館の活動について。地域コミュニティが希薄化しており、また、市内には小学校が廃校となった地区もある中、地域コミュニティの中心になるべきは地域公民館であると考え。公民館は子どもから高齢者まで全ての人たちの地域の窓口になっている。現状は、子ども・青年層にあまり利用されておらず高齢者の利用率が非常に高い。子ども対象の事業を考えていくべきだと考える。
事務局	1点目について。旧荒井八郎商店（旧彩々亭）は、12月の末に耐震診断の結果が出た。予想されていたことではあるが、昭和初期の建物で、現行の建築基準法でない時点の建物であるため、活用していくのであれば耐震補強は必要という結果が出ている。文化財の価値を保ったうえでどのように耐震補強を進めていくのか、どのように活用していくのか検討している段階。決まったら報告していく。
事務局	2点目について。ご指摘のとおり、子ども・若者の利用が少ない状況である。定期的に開催している各地域公民館との部会にて、親子で参加できるものや若者向けの資産形成講座などを中央公民館と共同で実施していこうという話をしており、令和7年度には、この動きがさらに活発になると考えている。中央公民館、地域公民館で連携して事業を実施していきたいと考えている。
高橋委員	二十歳を祝う会について。オープニングアトラクションの和太鼓演奏は、とても良かった。ただ、熊谷市を中心に活動している団体だと聞いた。昨年度の「少年の主張大会」で、地元の郷土芸能を発展させたいという意欲をもって素晴らしい発表をしてくれた児童が所属している真名板地区の薬師太鼓など行田市内の団体に発表の場を提供する意味でも、二十歳を祝う会でのオープニン

事務局	グアトラクションは市内の団体を呼んではどうか。 二十歳を祝う会は、式典対象者で構成する実行委員会にて企画を行っている。オープニングアトラクションも実行委員が希望する有名アーティストを招待したり、実行委員のツテを使ってパフォーマンスをしてくれる団体を呼んだりと、その年その年の特色を出している側面などもある。事務局より、市内の団体の推薦も可能ではあるが、実行委員が最終的な決断をするということだけ了承いただければと思う。
事務局	二十歳を祝う会の場合ではないが、鉄剣マラソンでは真名板地区薬師太鼓および橋場さざんかの会に、ゴール付近での演奏を要請していることを補足で情報提供させていただく。
羽賀委員	史跡内の樹の枝が落下した件で、定期的に樹の検査をしていて業者から大丈夫と言われていたが、折れてみたら中が腐っていたという話だったが、今後どのような対策をしていくのか。柵を作るのか、業者を変えるのか。
事務局	枝が折れてしまった樹については、樹自体を伐採した。他の史跡にある樹についても、再度樹木医に調査をしてもらっている。
寺本委員	行田の市民プールは将来的には直るのか。
滝澤委員	文化団体でラジオ体操を取り入れるというのは良い考えだと思った。高齢者の足腰が弱るのを防ぐことはとても大切である。ラジオ体操は子どもの頃にやっていてみんな馴染みがあるはずだし、音楽に合わせて体を動かすことは良いと思う。NHK ラジオの巡回ラジオ体操を引っ張ってくるというのはどうか。
事務局	行田市民プールは、室内プールで使用するために一番大切なボイラーが昨年2月に完全に故障してしまった状況。ボイラーも含めて、施設そのものが建設から60年経過しようとしており、修繕も含めて相談、検討した中で、復活させることは非常に厳しいという結論となった。夏期の屋外プールはできるだけ長い期間ご利用いただけるよう考えているが、1年を通じた開館については見送るという状況である。
萩原委員	郷土博物館のデジタルアーカイブの説明があったが、インターネットでのアクセス先は。
事務局	行田市ホームページ内の郷土博物館のページ下部に「行田市郷土博物館 館蔵資料デジタルアーカイブ」のバナーがあり、そこからアクセスいただける。
今村委員	行政が社会教育委員に何を求めているのか、改めて伺いたい。これだけ幅広い社会教育の分野について、年間たった2回の会議で行政の事業について行政からの説明を聞くだけではないか。せっかく集まっているのだから、委員の皆さまの共通理解のうえで、会として何かを提言するというものがなかったら、社会教育委員としての意味がないのではないか。
事務局	日頃より各分野にて社会教育に携わっておられる委員の皆様と、幅広い社会教育のそれぞれの分野の施策について情報共有をさせていただくことを会議

	の一つの目的としている。第1回社会教育委員会会議では令和6年度の事業計画を、第2回の本日は先ほどの事業報告のほか、この後は、令和7年度予算の概要の説明を予定している。個別の施策に関する御意見等をいただくことについて、この会議の時間だけではどうしても足りないため、年間を通した各種社会教育活動・事業の中で、各分野に関するご提言をいただければと考えている。また、行政側として何か課題があれば、会議の中で委員の皆様に諮問を行うこともある。
滝澤委員	今回の行田市文化祭は体験コーナーの復活もあり、とても魅力的なものをプラスしてあっており大変良かったと考えている。この魅力をチラシやポスターで、もう少しPRができて入場者が増えたらいいと思う。引き続き事務局の協力をお願いしたい。
長谷川委員	今村委員より会議としてのあり方についてお話しがあった。委員の皆さまは、それぞれの立場・分野から選出されており、多岐にわたる社会教育の状況を聞かせていただき、自分の分野、また他の分野についてそれぞれ考えるところがあり十分勉強になる。自分は人権教育の分野から出席しているが、その分野での委員会・研修その他をさらに充実させ、社会教育発展の一助になればいいと考えている。この会議の場だけでなく、それぞれの事業に活かしていくことで会議制にも十分意味があるのではないかと考えている。 もう一点、公民館関係だが、これからのあり方として、高齢者中心のものから、子ども、青少年また、場所によって多目的に運営出来たらどうか考えている。例えば忍・行田公民館だが、観光客が入館しているのを頻繁に見かける。観光案内所や土産物販売店などの機能を持たせられないか。可能であれば少しでも取り入れていただけたらと思う。
櫻井委員	放課後子ども教室は異年齢集団の活動として有意義なもので、各種スポーツ大会や文化祭などで子どもたちが参加しやすいような環境をつくっていただいたり、郷土博物館の展示も社会科見学で学習にも役立たせてもらっている。地域と子どもたちを結ぶ様々な取り組みをしていると感じる。 ただ、色々な行事を増やしてしまうと、一つひとつが充実しなかったりということもあるのではないかと考えており、働き方改革なども考えて見直す時期なのではないかと感じることもある。
今村委員	放課後子ども教室に携わっているが、放課後子ども教室は午後4時半終了で、親が迎えに来られる児童（または、小学校敷地内の学童保育室に入っている児童）しか参加できない。参加したくてもできない児童がいる。また、学童は宿題をやらせることはできても、勉強を教えることはできないと聞いている。現在、教育に経済格差ができている。学童で勉強を教えるようにはできないのか。また、我々も手伝って遊びを教えるようにはできないのか。もう一つは、地域公民館で子どもを預かることはできないのか、そこで無料の学習塾を

	やることはできないのか。そういうことは総合的に考えていかないといけないと考えるがどうか。
櫻井委員	学校だけではできないことであり、それぞれ単独で考えても話は進まないの で一緒になって考えていかないととは思ふ。
今村委員	学校運営協議会の中でこのような議題が何故出てこないのか。子どもたちの ためにどうあるべきかしっかり考えていかないといけない。行田の教育水準は 低いと言われているので、それをカバーする意味でも多くの人たちの知恵を集 めてより良い方向に持っていくべきだと考える。
長谷川委員	先ほどの自分の公民館の多目的化についての発言に一点付け加えたい。忍・ 行田公民館内に、商工センターなどにいる観光ボランティアがいる場所を作れ ればより充実するのではないかと考えている。
萩原委員	学校教育と社会教育があるが、学校の外は全て社会教育。地域で子どもを育 て、また、大人の社会教育についても考えなくてはいけない。地域にも教育的 な方、様々な技術をもった方がいる。そのような方にどの程度協力をお願いで きるかによっても社会教育がかわってくると思う。大人も子どもも、学校を離 れたら社会教育なので、一緒に活動できたらより良いと思う。公民館でそのよ うな機会を作れたら素晴らしいことだと思う。
羽賀委員	それぞれの意見についてとても良いと思うが、今の情勢では全て契約なの で、そこに書いてあるか書いてないか、責任は誰が取るのか、何時から何時ま でやるのか、緊急時はどうするのかなどとても難しいと思う。どこの機関がど ういう風に入って、どの法律に基づいてなど、すぐに返事ができることではな いと思うので、ぜひ調べておいていただきたい。
今村委員	自分はPTA 連合会から来ているが、宙ぶらりんになってしまっている子がい ることは課題だと思っている。昔は近所の方に怒られたりもしたが、今では問 題になってしまうこともあり、地域の人との繋がりが希薄化している。公民館 を活用して地域交流をしていけたら良いと思う。 西小の子どもたちを21年間見守ってきて、子どもと高齢者はマッチングす ると考えている。1年生の付き添い下校をしている仲間も皆、子どもたちに慕 われており、高齢者も子どもたちに元気をもらってやりがいを感じている。た だ、多くの地域の人たちは、声かけなどが昨今すぐ問題になるため、躊躇して しまう。この風潮をどうにかするためにP連にも協力してもらいたい。 市は「こどもまんなか政策」で子どもを皆で育てていこうとしている。地域 公民館も「子どもたちのために一肌脱いでください」と呼びかければ、もっと 活動に参加してくれる人がいるはず。子どもの保護者に何か言われることを恐 れなければならない社会の風潮を変えることが、ひいては子どもたちのため になると考えている。
事務局	皆様の貴重なご意見ありがとうございます。多岐にわたるご意見の中でこれ

からも工夫して政策を運営していかなければならないと考えている。今後、学校再編等も控えている中で、放課後子ども教室や学童など、これから色々な枠組みが変わっていく。そういった行政としての動きの中で、皆様の意見を伺いながら、公民館の活用なども形を変えていければいいと思っている。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

(2) 令和7年度社会教育関係予算の概要について

5つの主要事業について所管の課所館より説明。

- ①日本遺産魅力発信事業（中島文化財保護課主査）
- ②総合公園弓道場リニューアル（坂野スポーツ振興課主幹）
- ③総合体育館空調工事（坂野スポーツ振興課主幹）
- ④放課後子ども教室（近藤生涯学習課長）
- ⑤教育文化センターLED化工事（風間中央公民館副館長）

(3) 社会教育委員会議から選出している各種委員等について

資料を参考に社会教育委員の立場で各団体の会議等で協力賜りたい旨の説明。

7 閉 会 高橋副議長